

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ティラド

コード番号 7236 URL <http://www.trad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嘉納 裕躬

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 清水 国男

TEL 03-3373-1101

四半期報告書提出予定日 平成20年11月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	56,589	—	1,313	—	1,779	—	475	—
20年3月期第2四半期	55,623	20.5	2,026	450.9	2,460	427.5	2,264	383.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	6.53	5.99
20年3月期第2四半期	31.11	28.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	81,052	33,524	40.6	452.52
20年3月期	80,615	34,000	41.6	461.11

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 32,939百万円 20年3月期 33,550百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
21年3月期	—	3.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	△5.1	2,100	△43.1	2,800	△30.2	750	△73.9	10.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 74,777,392株 20年3月期 74,777,392株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,986,543株 20年3月期 2,016,978株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 72,786,880株 20年3月期第2四半期 72,812,264株

※ 業績予測の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（6ヶ月）の経済環境は、米国を発端とする金融不安の影響が世界中に波及し、実体経済の急速な悪化を招き、世界的な不況とも言える状況に入りつつあります。

このような状況の中、当社グループの売上は、国内においては、空調用熱交換器が、得意先の海外への生産移管、また内製化により減少となりましたが、得意先の輸出が伸び悩む中、小型車の販売が好調であった自動車用、並びに建設産業機械用の熱交換器が増加となりました。また海外においては、北米での取引先減産の影響、アジアの空調用の生産移管などにより減少となりましたが、アジアにおいて、建設産業用の熱交換器が増加しました。この結果、連結売上高は前年同期比で増加となりました。

利益面につきましては、親会社単体では売上増加による増益効果はありましたが、今年度より棚卸資産の低価格法が適用された影響や、原油高による運転経費の増加、人件費・研究費の増加、また投資有価証券評価損の発生などあり減益となりました。海外子会社においては、取引先減産の影響はあったものの新製品の生産が軌道に乗った北米子会社では収益が改善されましたが、新製品の生産準備のための先行コストが発生した欧州・アジア子会社では減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は56,589百万円、営業利益は1,313百万円、経常利益は1,779百万円、四半期純利益は475百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（連結貸借対照表）

流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は46,483百万円となり、対前連結会計年度末比で、1,649百万円増加しました。現金及び預金の増加（1,163百万円の増加）と、売掛債権の増加（1,228百万円の増加）が主な要因であります。

固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は34,569百万円となり、対前連結会計年度末比で、1,211百万円減少しました。主に時価評価額の下落による投資有価証券の減少（867万円の減少）と、設備投資の一巡による有形固定資産の減少（257百万円の減少）の影響によります。

流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は42,268百万円となり、対前連結会計年度末比で、1,281百万円増加しました。買掛債務の増加（828百万円の増加）と、有価証券未払金の増加（1,000百万円の増加）、短期借入金の増加（3,986百万円の増加）、1年内新株予約権付社債の減少（4,000百万円）の減少、未払法人税の減少（733百万円の減少）により、増加しました。

固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は5,259百万円となり、対前連結会計年度末比で、367百万円減少しました。

純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は33,524百万円となり、対前連結会計年度末比で、475百万円減少しました。その他有価証券評価差額の減少（232百万円の減少）と、為替換算調整勘定の減少（431百万円の減少）により、減少しました。

（連結キャッシュフロー計算書）

当第2四半期連結会計期間末における現金および現金同等物は、5,127百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,535百万円の増加となりました。これは、主に売上債権の増加による1,444百万円の減少はありましたが、利益と減価償却費に加えて、仕入債務が1,032百万円増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△1,896百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△91百万円となりました。これは、社債の償還による4,000百万円の減少はありましたが、短期借入金が増加した4,400百万円増加したことと、配当金の支払で366百万円減少したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成20年10月16日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の通りであり

ます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

国内子会社・関連会社の法人税の計上については、法定実効税率をベースとして簡便計算をしております。

その他影響額が重要でないものにつき、簡便な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、営業利益は139百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ141百万円減少しております。

③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、営業利益は15百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ12百万円増加しております。

④ 機械装置については、法人税法の改正により法定の耐用年数は変更されましたが、合理的な経済的耐用年数を再検討した結果、従来の耐用年数を引き続き適用しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,161	3,998
受取手形及び売掛金	29,197	27,969
有価証券	1,006	1,101
製品	2,678	1,930
半製品	236	248
原材料	3,929	4,468
仕掛品	628	1,052
その他	3,678	4,103
貸倒引当金	△32	△37
流動資産合計	46,483	44,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,391	5,562
機械装置及び運搬具（純額）	9,931	10,933
その他（純額）	6,949	6,033
有形固定資産合計	22,272	22,529
無形固定資産		
のれん	237	269
その他	354	368
無形固定資産合計	592	637
投資その他の資産		
投資有価証券	10,244	11,111
その他	1,503	1,552
貸倒引当金	△43	△51
投資その他の資産合計	11,704	12,612
固定資産合計	34,569	35,780
資産合計	81,052	80,615
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,791	16,963
短期借入金	17,689	13,703
1年内償還予定の転換社債	—	4,000
未払法人税等	242	976
賞与引当金	1,313	1,263
役員賞与引当金	21	60
製品保証引当金	169	212
その他	5,040	3,808
流動負債合計	42,268	40,987

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
長期借入金	1,589	1,688
退職給付引当金	457	572
役員退職慰労引当金	6	11
負ののれん	44	46
その他	3,161	3,308
固定負債合計	5,259	5,627
負債合計	47,528	46,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,245	7,245
資本剰余金	6,077	6,075
利益剰余金	19,622	19,510
自己株式	△817	△828
株主資本合計	32,127	32,004
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	716	949
繰延ヘッジ損益	△176	△106
為替換算調整勘定	271	703
評価・換算差額等合計	811	1,545
新株予約権	91	63
少数株主持分	493	385
純資産合計	33,524	34,000
負債純資産合計	81,052	80,615

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	56,589
売上原価	51,493
売上総利益	5,096
販売費及び一般管理費	
荷造及び発送費	727
製品保証引当金繰入額	31
給料及び手当	628
賞与引当金繰入額	204
役員賞与引当金繰入額	21
退職給付引当金繰入額	37
福利厚生費	487
研究開発費	600
その他	1,044
販売費及び一般管理費合計	3,783
営業利益	1,313
営業外収益	
受取利息	51
受取配当金	105
持分法による投資利益	283
為替差益	142
その他	183
営業外収益合計	765
営業外費用	
投資有価証券評価損	33
支払利息	231
その他	34
営業外費用合計	299
経常利益	1,779
特別利益	
固定資産売却益	2
その他	2
特別利益合計	4
特別損失	
固定資産売却損	15
固定資産除却損	63
投資有価証券評価損	569
特別退職金	50
特別損失合計	698
税金等調整前四半期純利益	1,085
法人税、住民税及び事業税	258

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

法人税等調整額	312
法人税等合計	571
少数株主利益	38
四半期純利益	475

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,085
減価償却費	2,128
のれん償却額	32
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△117
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	50
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△39
受取利息及び受取配当金	△149
支払利息	231
持分法による投資損益 (△は益)	△283
有形固定資産除却損	63
有形固定資産売却損益 (△は益)	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,444
たな卸資産の増減額 (△は増加)	60
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,032
有価証券売却損益 (△は益)	△58
有価証券評価損益 (△は益)	602
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	200
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	407
その他	△244
小計	3,524
利息及び配当金の受取額	222
利息の支払額	△232
法人税等の支払額	△977
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,535
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△92
有価証券の売却による収入	216
有形固定資産の取得による支出	△2,118
有形固定資産の売却による収入	28
投資有価証券の取得による支出	△222
投資有価証券の売却による収入	99
その他	192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,896

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,399
長期借入れによる収入	10
長期借入金の返済による支出	△113
転換社債の償還による支出	△4,000
少数株主からの払込みによる収入	51
自己株式の取得による支出	△7
自己株式の売却による収入	19
配当金の支払額	△363
少数株主への配当金の支払額	△2
その他	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	450
現金及び現金同等物の期首残高	4,661
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	14
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,127

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「各種熱交換器の製造・販売事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	本国 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	37,218	7,204	4,572	7,594	56,589	—	56,589
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,156	45	101	215	2,518	(2,518)	—
計	39,374	7,249	4,674	7,809	59,108	(2,518)	56,589
営業利益又は営業損失	554	70	△13	709	1,321	(△8)	1,313

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	7,057	5,828	8,106	211	21,204
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	56,589
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.5	10.3	14.3	0.4	37.5

(補足資料)

販売の状況(連結)

(単位=百万円)

営業年度 用途	当第2四半期連結 累計期間 (20年4月1日 ～20年9月30日)		前中間連結会計期間 (19年4月1日 ～19年9月30日)		差 引		前連結会計年度 (19年4月1日 ～20年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
自動車用	25,245	44.6	24,680	44.4	564	2.3	52,534	47.4
空調機器用	9,360	16.5	10,349	18.6	△989	△ 9.6	17,275	15.6
建設産業機械用	18,606	32.9	17,323	31.1	1,283	7.4	35,136	31.7
その他	3,377	6.0	3,268	5.9	108	3.3	5,791	5.2
合 計	56,589	100.0	55,622	100.0	967	1.7	110,737	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 第2四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	55,623	100.0
II 売上原価	50,021	89.9
売上総利益	5,601	10.1
III 販売費及び一般管理費	3,575	6.4
営業利益	2,026	3.6
IV 営業外収益	909	1.6
1. 受取利息	47	
2. 受取配当金	257	
3. 投資有価証券売却益	81	
4. 持分法による投資利益	349	
5. 為替差益	38	
6. その他	134	
V 営業外費用	474	0.9
1. 支払利息	187	
2. 投資有価証券評価損	168	
3. 棚卸資産処分損	48	
4. その他	70	
経常利益	2,460	4.4
VI 特別利益	1,409	2.5
1. 固定資産売却益	4	
2. 投資有価証券売却益	110	
3. 退職給付信託返還益	1,294	
VII 特別損失	149	0.3
1. 固定資産除却損	83	
2. 投資有価証券評価損	65	
3. その他	0	
税金等調整前中間純利益	3,720	6.7
法人税、住民税及び事業税	648	
法人税等調整額	765	
少数株主利益	41	0.1
中間純利益	2,264	4.1

(2) 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	3,720
減価償却費	2,246
役員退職慰労引当金の増減額	0
退職給付引当金の増減額	△133
退職給付信託返還益	△1,294
貸倒引当金の増減額	7
賞与引当金の増減額	8
役員賞与引当金の増減額	△20
製品保証引当金の増減額	△3
受取利息及び受取配当金	△305
支払利息	187
持分法による投資損益	△349
固定資産売却却損	79
売上債権の増減	△3,288
たな卸資産の増減	141
仕入債務の増減	610
投資有価証券の売却損益	△191
投資有価証券の評価損	233
その他	93
小計	1,744
利息及び配当金の受取額	354
利息の支払額	△194
法人税等の支払額	△672
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,231

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△77
有価証券の取得による支出	△200
有価証券の売却による収入	375
有形固定資産の取得による支出	△2,841
有形固定資産の売却による収入	107
投資有価証券の取得による支出	△1,523
投資有価証券の売却による収入	961
貸付の回収による収入	0
その他	130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,067
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	17,764
短期借入金の返済による支出	△14,487
長期借入れによる収入	382
長期借入金の返済による支出	△272
自己株式の売却による収入	147
自己株式の取得による支出	△15
配当金の支払額	△363
その他	△2,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,155
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	82
V 現金及び現金同等物の増加額	△597
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,411
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	3,814

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「各種熱交換器の製造・販売事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	本国 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	35,811	8,377	4,214	7,219	55,623	—	55,623
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,481	114	129	389	3,115	(3,115)	—
計	38,293	8,492	4,344	7,609	58,739	(3,115)	55,623
営業利益又は営業損失	1,225	△114	206	731	2,049	(23)	2,026

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	8,513	5,053	7,443	211	21,222
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	55,623
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	15.3	9.1	13.4	0.4	38.2